



地盤調査



鉄骨組立作業



大天守内側石垣石材回収作業



崩落石材の回収作業



無人化重機による石材回収



倒壊防止受構台の建設



小天守入口付近石材回収作業



大天守内側石垣墨打ち、番付作業



大天守石垣上面発掘調査



崩落石材測量作業



被災前写真による石材対照作業



仮受構台撤去作業(市役所14階から)

平成29年度(上半期)の経過

天守閣

天守閣復旧工事では、大天守最上階の解体、大天守穴蔵に崩落した石材の回収、大天守石垣上面天端部分の発掘調査を実施しました。

飯田丸五階櫓

飯田丸五階櫓石垣では、崩落石材を無人化した重機で回収し、上から差し入れた仮受構台を下から支える倒壊防止受構台の設置工事を行いました。

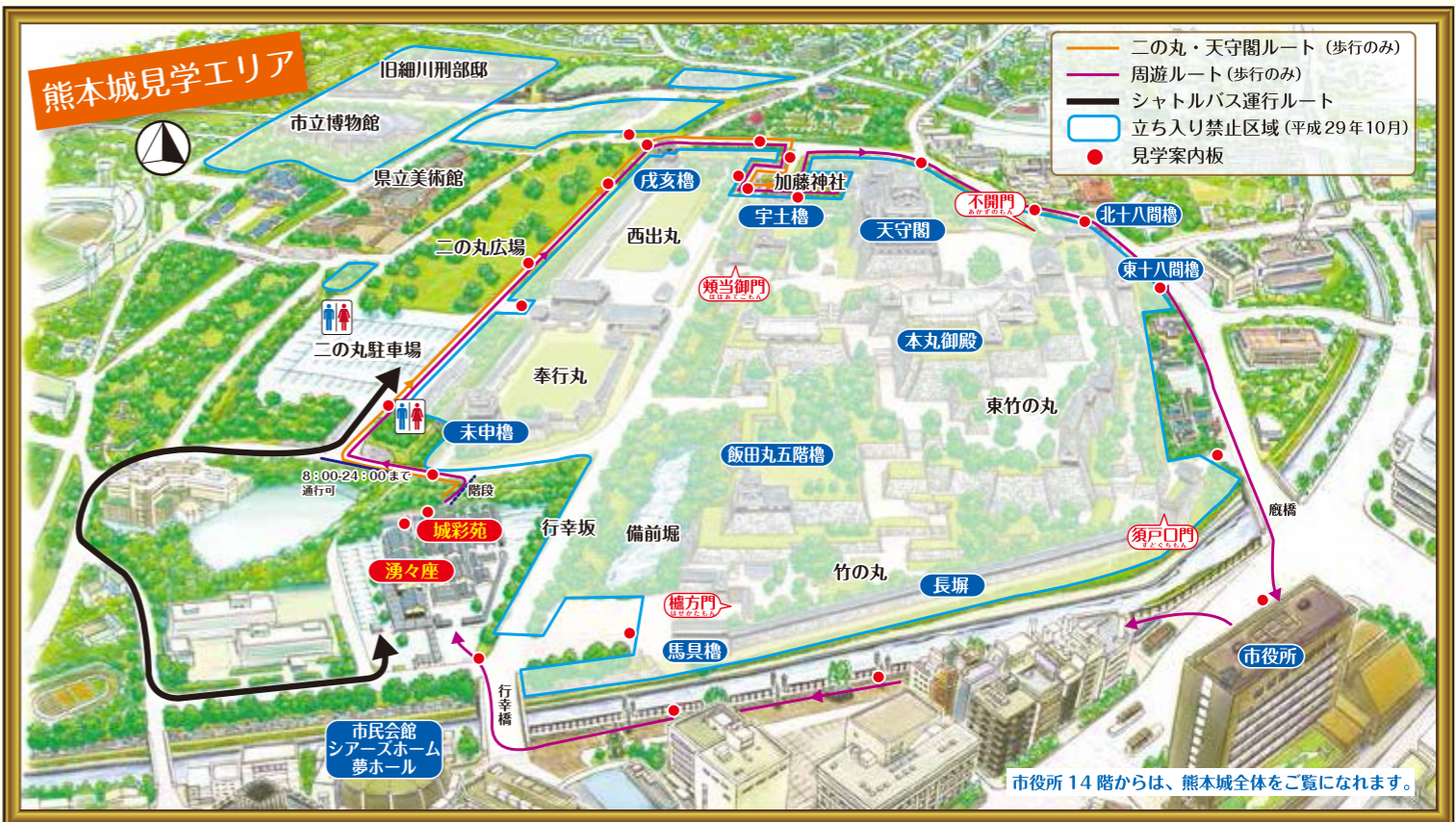
熊本城

～復興に向けて～

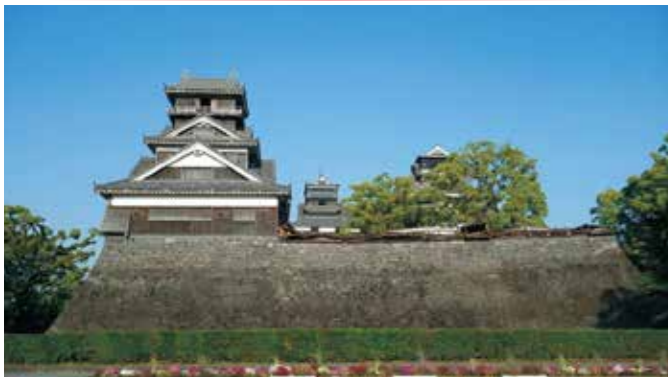
平成29年
秋



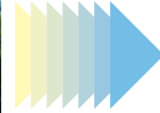
加藤神社から見る天守復旧工事



震災直後



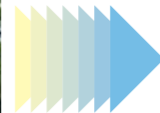
①宇土櫓 続櫓部分が倒壊



続櫓部材回収のため足場設置工事中



②加藤神社境内 石垣崩落



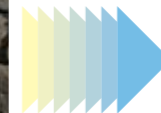
石垣石材を回収し、安全対策終了

現在 (平成29年9月)

震災直後



③頼当御門周辺 通路両面の石垣崩落



石垣養生工事終了。スロープは天守工専用仮設通路。



④北十八間櫓 石垣崩壊による櫓倒壊



建物部材を回収し、石垣の安全対策終了



⑤東十八間櫓 石垣崩壊による櫓倒壊



建物部材を回収し、石垣の安全対策終了



⑥百間石垣 3ヶ所で崩落、石材が市道をふさぐ



安全対策も終了し、通行再開



熊本城の地震被災状況

熊本城全体の石垣：973面、約79,000㎡
特別史跡熊本城跡の土地面積：約512,000㎡

平成28年4月14日 21時26分「前震 M6.5」

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	10棟	長塀80m崩壊、9棟は瓦・外壁落下など
復元建造物	7棟	天守閣瓦落下、壁ひび、塀崩壊など
石垣	崩落6箇所	膨らみ・緩み多数

平成28年4月16日 1時25分「本震 M7.3」

※前震での被害を含む

種類	被害数量	内容
重要文化財建造物	13棟	倒壊2棟、一部倒壊3棟。他は屋根・壁破損など
復元建造物	20棟	倒壊5棟。他は下部石垣崩壊、屋根・壁破損など
石垣	崩落・膨らみ・緩み 517面 (うち崩落50箇所、229面)	約23,600㎡ (全体の29.9%) (うち崩落約8,200㎡ (全体の10.3%))
地盤	陥没・地割れ70箇所	約12,345㎡
便益施設・管理施設	26棟	屋根・壁破損など



⑦二の丸広場の見学通路と見学案内板